

## レジ袋削減推進に向けた取組に関する協定

サミット株式会社と杉並区レジ袋削減推進協議会及び杉並区は、循環型社会の構築と地球温暖化防止に向けた環境配慮行動のさきがけとして、レジ袋削減を更に一步進め、杉並区の目標とするマイバッグ等持参率 60%を達成させるため、以下のとおり協働して取り組みます。

- サミット株式会社は、サミットストア成田東店を推進モデル店として、平成 19 年 1 月 15 日から 3 月 31 日まで、レジ袋の無料配布を行わず、一枚 5 円で販売する実証実験を行います。また、実験終了時まで、当該店舗での事業の継続や他店舗の実施を検討します。
- サミット株式会社は、実験期間中に得たレジ袋の収益を、地域の環境教育等へ還元していきます。
- 杉並区レジ袋削減推進協議会は、環境省の「容器包装廃棄物 3R 推進モデル事業」として、推進モデル店を中心に幅広い啓発事業を行います。
- 杉並区は、サミット株式会社の実験のパートナーであるとの姿勢で臨み、推進モデル店への説明要員配置等人的支援を含んだ、積極的な支援事業を行います。
- 詳細は、今後関係者間で協議していきます。

平成 18 年 10 月 16 日

サミット株式会社  
代表取締役社長

杉並区レジ袋削減推進  
協議会会長

杉並区長

高田 浩      根本郁男      小田 宗

## レジ袋削減推進のための地域自主協定締結と 推進モデル店でのレジ袋有料販売

### 1 地域自主協定の調印式概要

日 時 平成18年10月16日(月) 16:00~16:30  
会 場 杉並区役所 第三・四委員会室 (中棟5階)  
調印締結者 杉並区レジ袋削減推進協議会会長 根本 郁芳  
サミット株式会社代表取締役社長 高田 浩  
杉並区長 山田 宏

次 第 協定の概要説明 事務局  
調印及び協定書の披露  
根本レジ袋削減推進協議会会長 挨拶  
高田サミット株式会社社長 挨拶  
山田杉並区長 挨拶  
※土屋品子環境副大臣 挨拶  
共同記者会見

※ 環境省の報道発表(H18.10.16:別紙資料4)のとおり、杉並区レジ袋削減推進協議会の本事業は、「環境省の容器包装廃棄物3R推進モデル事業」として実施することとなります。

調印式は、土屋品子環境副大臣の立会いで行います。

### 2 地域自主協定の意義

レジ袋の有料化は、単に民間企業の経営判断の域を超えて、循環型社会を実現するためのごみ発生抑制への取り組みです。レジ袋有料化をきっかけとして、住民・事業者双方がライフスタイル・事業スタイルを循環型社会に適応したものに変えていくため、区は積極的に事業者を支援するだけでなく、実施事業者と共に行う姿勢を明確にします。

容器包装廃棄物の3R推進に向けた自主協定の有効性は、中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会の意見具申に盛り込まれており、環境省も、全国展開している一部事業者との間で、我が国で初めてとなる「国と事業者による環境保全に向けた自主協定」を締結しています。

循環型社会実現を目指す区の姿勢を明確にし、地域社会が一体となって取り組む姿勢を表明するために、地域社会を形成する各主体それぞれの実践を促すものが「地域自主協定」です。

### 3 協定の概要

- サミット株式会社は、サミットストア成田東店を推進モデル店として、平成19年1月15日から3月31日まで、レジ袋の無料配布を行わず、一枚5円で販売する実証実験を行います。また、実験終了時までには、当該店舗での事業継続や他店舗での実施を検討します。
- サミット株式会社は、実験期間中に得たレジ袋の収益を、地域の環境教育等へ還元していきます。
- レジ袋削減推進協議会は、環境省の「容器包装廃棄物 3R 推進モデル事業」として、幅広い啓発事業を行います。
- 杉並区は、サミット株式会社が、実験のパートナーであるとの姿勢で臨み、推進モデル店への説明要員配置等人的支援を含んだ、積極的な支援事業を行います。
- 詳細は、今後関係者間で協議していきます。

### 4 協定締結までの杉並区におけるレジ袋削減の経緯

平成 14 年 3 月	すぎなみ環境目的税（レジ袋税）条例成立
平成 14 年 5 月	杉並区レジ袋削減推進協議会（レジ協）設立
平成 16 年 11 月	レジ協、税でなくレジ袋有償化を区長、区議会議長に要請
平成 17 年 8～9 月	レジ袋削減に関する海外視察調査を実施（10 月報告書作成）
平成 17 年 12 月	「レジ袋規制政策に関する提言」を環境大臣に提出
平成 18 年 6 月	改正容器包装リサイクル法成立
平成 18 年 6 月	杉並区レジ袋有料化モデル検討会設置
平成 18 年 9 月	モデル検討会「検討会中間報告－有料化モデル構築のための実証実験に向けて」を区長に報告

### 別添資料

#### 別冊封筒 1 杉並区資料

- 資料 1 協定書 見本
- 資料 2 杉並区におけるレジ袋削減の取組
- 資料 3 杉並区レジ袋有料化モデル検討会中間報告  
－有料化モデル構築のための実証実験に向けて（概要）
- 資料 4 環境省報道発表「容器包装廃棄物 3R 推進モデル事業」の実施について
- 資料 5 杉並区レジ袋削減啓発用品  
「おしえてレジ袋」「ようこそ杉並区へ」「再利用シール入りポケットティッシュ」

#### 別冊封筒 2 サミット株式会社 会社案内

## 杉並区レジ袋有料化モデル検討会中間報告 ～ 有料化モデル構築のための実証実験に向けて～

概要版

### 中間報告にあたって

#### 1 実施に踏み切りがたい背景

レジ袋有料化の機運は高まりつつあるが、企業の自主的判断に委ねているだけでは、市場競争の中で競争劣化行動となり、また、消費者も総論賛成各論反対の行動をとる。

#### 2 杉並区におけるレジ袋有料化モデルの構築

区はレジ袋有料化をレジ袋削減の有効な手段として位置づけ、事業者の自主的判断を側面支援するだけでなく、区も実施主体となることを明確化する「杉並区モデル」を構築する。

#### 3 対象事業者

より多くの事業者の参加を求める姿勢を貫きつつ、区は少しでも前向きな事業者に対し、先行して積極的に協働姿勢を取り、共に現実的な実施の一步を踏み出す姿勢で臨む。

### 実証実験への提案

#### 1 消費者への働きかけ

店舗に来店する顧客が、レジ袋有料化について正しい理解を持つため、マスコミを通じた広範な PR、様々なキャンペーンなど、各種の施策を展開する。

#### 2 地域自主協定

地域社会が一体となって取り組む姿勢を表明し、区・事業者・地域住民で協定を締結する。

#### 3 様々な誘引施策

- ・ 区は、環境目的税条例成立後に匹敵する人的体制で実施店舗を支援
- ・ 自社ブランドマイバッグの持参普及
- ・ 啓発用品やレジ周りシステムの開発における行政の応分の負担
- ・ 実証実験中のレジ袋自体を広報媒体として利用

#### 4 リスク分担の考え方

区が実証実験を呼びかけ、その結果のリスクを事業者側のみに求めることは、

実験の性格上望ましくないが、この把握は困難である。このため、区は人的支援や啓発、開発経費の負担等、様々な選択肢をもって、事業者のリスク軽減を行っていく。

区は、区民に向けて、実験参加事業者はパートナーであるとの姿勢で、実験の意義と目的をきちんと説明する。その上で、十分な成果が得られないなら、区やレジ袋削減推進協議会の運動成果が問われることとなる。

#### 5 有料化レジ袋の収益の用途

実験参加事業者は環境意識の高い事業者であり、収益の用途も事業者自身に任せていく。区は事業者の環境活動を補完する立場から、環境対策等の取り組み内容を、地域住民に判りやすく伝える。

基金制度は、区単独での導入は困難であるが、実施事業者が全国的事業者団体に拡大する場合、全国の実施への弾みとなることから、継続して検討する。

#### 6 関連調査の実施

有料化による事業者への影響調査等を実施する。

### 中間報告の取り扱いと今後の検討会の進め方

本報告に基づき、具体的な事業提案を早急に構築し、各事業者に誠意を持ってレジ袋有料化実証実験への参加提案を行っていく。本年度末をひとつの区切りとして、事前事後の調査等により効果を検証し、有料化モデルを構築することで最終報告とする。

## 杉並区におけるレジ袋削減の取組み

### 1 たかがレジ袋、されどレジ袋

杉並区内で年間に使われるレジ袋は、推計で約1億5,200万枚（平成16年7月調査）であり、一週間に1世帯あたり平均約10枚のレジ袋を受け取っていることとなる。

石油換算では、杉並区だけで年間にドラム缶14,000本近くとなり、これは小学校の25mプール11杯分にあたる。

### 2 すぎなみ環境目的税条例

#### (1) 区税等研究会報告（平成12年9月）

平成12年4月、地方分権一括法の施行により、法定外目的税の創設ができるようになり、庁内組織として区税等研究会を設置し、区として新しい税の検討を行う。

本区として目指すべき税について

- 1 単に税収を求めるととどまらず、当区の当面する重要な施策の推進に資する税であることが望ましいこと。
- 2 現下の厳しい社会経済状況の中で、区民に負担を求めるときには、できるだけ区民に選択権が保証される税であることが望ましいこと。
- 3 区から特別な利益を受けたり、特別な行政需要を引き起こしていると思われるところに負担を求めるのが望ましいこと。

の3つの視点を付加して、慎重に検討した

様々な税源を検討した中で、成案とし得ると考えられたものは、レジ袋に対する課税であった。

本税は一人ひとりの区民・事業者对环境保全の重要性を訴え、ともに環境先進都市を創っていかうと呼びかける契機である。

#### (2) 杉並区レジ袋税調査会議報告（平成13年5月）

(1)の研究報告による新税構想について、地域全体のコンセンサスを得る上で、解決しなければならない課題等を消費者、事業者、学識経験者等の視点で検討する組織を設置した。

家庭ごみ対策及びその構成要素たるべきレジ袋対策として、価格誘導的な新しい方策の導入あるいは既存の価格誘導的な方策の促進を図るべきである。レジ袋税はその選択肢の一つである。今後は、レジ袋税、レジ袋の有料化、包括的な家庭ごみ有料化方策をも含めて、価格誘導的な各方策の得失、実行上の課題、具体的実施方法等について、特に流通事業者等にとってのコスト増や区境の問題等を含め、本調査会議報告書において課題とされている諸点について、一層詳細な調査と情報の収集及び区民の理解を得るべきである。

注1 価格誘導的な方策 強制力の有無を問わず、消費者に対してレジ袋の取得に際し、その行動を左右する金銭的な措置 <税、条例による有料化、条例又は条例によらないスタンプ制など>

注2 流通事業者等 レジ袋を譲渡する事業者

#### (3) レジ袋税を実施した場合に発生する課題調査報告（平成13年7月）

区内消費者・事業者に対するPRはもとより、周辺区に対するPRをも時間をかけて十分浸させていくことで、買い物袋を持参する消費者を更に増やすことが可能であり、商店における客の減少・売上減少への不安や心配を取り除くことも可能になるのではないかと考えられる。

(4) 杉並区議会での審議経過

平成13年杉並区議会第4回定例会 すぎなみ環境目的税条例を提案

平成13年12月25日 全員協議会開催

平成14年杉並区議会第1回定例会

平成14年3月18日 同条例の一部を修正して可決し、また、付帯決議を可決

(5) すぎなみ環境目的税の概要

税目	すぎなみ環境目的税
レジ袋	買い物などで、商品を運ぶために街の商店やスーパー、コンビニから無料又は有料で受け取るプラスチック製の手提げ袋
税率	レジ袋1枚につき5円
納税義務者	レジ袋を無料又は有料で受け取る消費者の方
徴収の方法	地方税法の規定に基づき、消費者の方からお預かりした税金を、事業者の方が区に納入(特別徴収)
使途	廃棄物の減量、リサイクルの推進、屋上緑化その他環境の保全に係る施策に要する費用
施行時期	未定

3 杉並区レジ袋削減推進協議会

区民・事業者・行政が立場の違いを超えて、21世紀における環境先進都市をめざす観点から、レジ袋の使用を抑制するとともに、これを契機としてライフスタイルを見直し、環境への負荷の少ない地域社会をつくることを目的に、広範な杉並区民の意見を集約し、レジ袋削減に向けた区民運動を展開するため平成14年5月に結成した。

4 レジ袋削減推進協議会を中心とする年度ごとの取り組み

平成14年度

5月16日 第1回協議会理事会 協議会発足

6月12日 第2回協議会理事会 削減目標の設定

<削減目標> 平成15年6月末までに20%の削減をし、以後、毎年度10ポイントずつの向上を目指し、5年間(平成19年6月末まで)で60%を削減の目標とする。

7月24日 第3回協議会理事会 エコシール事業の概要等を了承

9月13日 第4回協議会理事会 削減目標を変更及び総会の日程等の了承

<削減目標> 平成14年7月実施のマイバッグ等持参状況調査において、持参率の加重平均が24.1%であったため、平成15年7月までに33%の削減をし、以後、毎年度7ポイント程度ずつの向上を目指し、5年間(平成19年7月まで)で60%を削減の目標とする。

10月7日 第1回杉並区レジ袋削減推進協議会総会を開催

- 10月19～20日 環境博覧会出展  
エコシール事業及び税制のパネル展示
- 12月 7日 杉並花笠祭り出展  
エコシール事業及び税制のパネル展示
- 12月11日 第5回協議会理事会  
協議会総会及びエコシール事業の現状等、各委員会から報告
- 2月 5日 街頭レジ袋削減キャンペーン  
(静岡市、松本市、池田市などとの合同キャンペーン)  
区内JR4駅周辺で実施、大道芸実演、チラシ・風船などを配布
- 平成15年度
- 6月 3日 第6回協議会理事会  
平成15年度の運動方針案を了承。平成15年1月実施のマイバッグ等持参状況調査結果(加重平均で持参率24.2%、併用者4.5%、合計28.7%)等、各委員会から報告等をする。併用者を持参率に含めることを決定。
- 7～8月 区内の小中学生から絵画募集
- 8月 5日 阿佐谷七夕祭りでのキャンペーン  
啓発うちわ(13,000枚)の配布
- 10月11～12日 環境博覧会出展  
参加型ゲームによる携帯バッグの贈呈及び税制のパネル展や小中学生の絵画展等を実施
- 10月14日 第7回協議会理事会  
平成15年7月実施のマイバッグ等持参状況調査結果(加重平均で持参率26.4%、併用者2.3%、合計28.7%)1年目の削減目標33%達成できず、各団体での行動を確認する。区は、環境目的税施行も今後視野に入れる可能性を示唆。
- 12月13日 杉並花笠祭り出展  
参加型ゲームによる携帯バッグの贈呈
- 1月17日 街頭マイバッグキャンペーン(マイバッグ推進連絡会と合同)  
荻窪駅北口及び西友荻窪店内で啓発用バンソウコウ、風船、携帯バッグの配布
- 2月14日 環境博覧会ポストイベント出展  
パネル展示や児童のぬり絵など
- 平成16年度
- 4月15日 第8回協議会理事会  
平成16年1月実施のマイバッグ等持参状況調査結果(加重平均で持

参率26.1%、併用者2.1%、合計28.2%)や削減運動等の認知度調査結果等を委員会から報告。持参率は初めて減少し、啓発運動だけでは持参率の伸びが期待できないことを確認し、運動だけでなく新たな対策について小委員会を設置し、早急に検討することを決定。検討結果は、次回の理事会にて報告する。

4月19日～21日

区立小学校44校3～6年生へリーフレット「おしえて レジ袋」を配布(計12,000部)複数の小学校において授業などで活用

7月上・中旬 町会による自主活動(5町会)

町会内の住民に対して、チラシを作成配布などしながら、地元のスーパー等を利用する際に買い物袋を持参するよう呼びかけ。

7月上旬～ レンタルバッグ事業(9商店会)

7月29日 第9回協議会理事会

前回理事会後副会長4名で組織した小委員会における検討を踏まえて、レジ袋の有料頒布の要請、削減運動の継続、他自治体との連携を柱とした提案を正副会長から行った。有料頒布については賛否両論が出たが、具体的な方策については、次回の理事会で提案することとなった。

9月11・12日 井草地域区民センターまつりにおける啓発活動(パネル展示)

9月16日 静岡市消費者協会との交流会

9月22日 第10回協議会理事会

平成16年7月実施のマイバッグ等持参状況調査結果(加重平均で持参率25.5%、併用者6.3%、合計31.8%)の報告。大型店でレジ袋有料頒布条例制定を求める要請書について論議、区内の全ての小売業を対象にすべきとの意見があり、区と議会あてに要請することは決定したが、要請書文案については正副会長に一任する。

10月1日～31日 小中学生からの作文募集(杉商連主催、区後援)

「我が家のレジ袋削減作戦」をテーマに区内小中学生から作文を募集、入賞者に賞状等を授与。

10月16～17日 環境博覧会出展

小学生向けリーフレット「おしえてレジ袋」及び税制のパネル展示とクイズ回答者への粗品進呈。

11月 2日 第11回協議会理事会

区と議会あての要請書について、反対意見と一部文言の修正意見が出されたが、最終的には修正後の文面と提出時期について正副会長に一任された。また、エコシール事業の第二期事業実施が承認された。

- 11月 5日 レジ袋削減キャンペーン  
松本市、静岡市、豊田市などとの共同キャンペーン、大型バイク、  
区安全パトカーなどによる区内巡回広報活動
- 11月6・7日 阿佐谷地域区民センターまつりにおける啓発（パネル展示）
- 11月15日 区長、議長へのレジ袋有償頒布推進にかかる要請書を提出  
" 日立市エコサークルネットワークとの交流
- 12月11日 杉並花笠祭り出展  
協議会ニュース、メモ帳、ハート型風船の配布、パネル展示
- 2月 6日 ポスト環境博覧会への出展  
地球温暖化とレジ袋の関係ほかのパネル展示とメモ帳を配布
- 3月5・6日 すぎなみ生活展への出展（パネル展示）  
西荻地域区民センターまつりにおける啓発（パネル等展示）
- 3月27日 街頭マイバッグキャンペーン（マイバッグ推進連絡会と合同）  
クイーンズ伊勢丹杉並桃井店前で啓発物配布
- 平成17年度
- 4月25日 小学生向けリーフレット改訂版「おしえてレジ袋」を区立小学校3年～6  
年生に配付
- 5月16日 第12回協議会理事会  
前年度の運動報告に引続き、「レジ袋有償頒布推進にかかる要請書」に  
対する区の対応を確認。海外視察調査の実施と調査へのレジ協理事の参  
加について承認。人選については会長に一任した。
- 6月 6日～10日 「みんなでつくる環境世紀」出展  
区役所ロビーにて「おしえてレジ袋」他のパネルを展示
- 6月25日 杉十小で全国社会科教育協議会研究授業  
「おしえてレジ袋」が教材に選ばれる。
- 7月12日 小学生夏休み向けに「レジぶくろヘラシたい! 隊員手帳」を区立小学校3  
年～6年生に配付
- 7月14日 大手スーパー前6か所で街頭宣伝実施  
協議会ニュース、レジぶくろヘラシたい隊員手帳を配布
- 7月30日 日野市レジ袋削減シンポジウム参加  
「いずみ納涼まつり」にて啓発資材配布
- 8月 7日 「元気出せ! 堀ノ内参道会 2005 夏祭!」にて啓発資材配布
- 8月中旬～ 隊員手帳おたのしみプレゼント発送  
レジぶくろヘラシたい隊員手帳のはがき応募者に、啓発用ハンドタオ  
ルとエコ・シールを贈呈（応募総数103通）
- 8月26・27日 「ふるさと西荻ぼんおどり大会」にて啓発資材配布

- 8月27日 「方南演歌祭り&みんなで踊ろうエイサー」にて啓発資材配布
- 8月29日 レジ袋削減に関する海外視察調査参加  
 ~ 9月 2日 アジア方面(台湾・韓国)  
 ~ 9月 5日 ヨーロッパ方面(アイルランド・ドイツ)
- 9月 5日 愛・地球博で合同キャンペーン参加  
 愛知県の豊田市・高浜市・岡崎市、静岡県静岡市、長野県松本市とエキスポ・エコマネーセンター前でレジ袋削・マイバッグキャンペーンを実施。啓発物を配布。
- 9月26日 第13回協議会理事会  
 海外視察調査参加者の報告と報告書の取りまとめについて。今年度のマイバッグ等持参状況調査を報告。マイバッグ持参率は35.2%と伸びるも、目標の47%に届かず
- 9月28日 レジ袋削減に関する海外視察調査報告会
- 10月15日~16日 環境博覧会出展  
 「おしえてレジ袋」と「海外視察調査報告」のパネル展示と「レジぶくろへラシたい隊員手帳」の応募はがきパネル展示と隊員手帳のクイズ回答者に粗品を進呈
- 11月 1日~ 7日 5市1区合同マイバッグキャンペーンに参加  
 「あんさんぶる荻窪」1階ロビーにパネル展示して、名古屋市・豊田市・静岡市・塩尻市・松本市と時期を合わせたキャンペーンを実施
- 12月10日 杉並花笠祭り出展  
 街頭放送テープによるレジ袋削減呼びかけと、啓発用ハート型風船配布
- 12月14日 「レジ袋規制政策に関する提言」  
 区長が環境大臣へ直接手渡す。同日経済産業省にも提出する。
- 3月26日 街頭マイバッグキャンペーン(マイバッグ推進連絡会と合同)  
 荻窪タウンセブン前広場で、レジ袋の再利用シールと再利用ラベル入りポケットティッシュ配布
- 平成18年度
- 5月22日 第14回協議会理事会開催  
 前年度の運動報告と今後のレジ袋削減推進策として区の有料化モデル検討会への委員の参加と環境省のモデル事業について説明
- 6月3日~4日 「あんさんぶる荻窪&荻窪すずらん通り祭り」  
 レジ袋の再利用シールと再利用ラベル入りポケットティッシュ、啓発用ハート型風船、レジ袋通信配布
- 6月5日~9日 環境月間ロビー展  
 区役所1階ロビーにて「もったいないふるしき」を中心にパネル展示

- 8月7日 レジ袋ヘラシたい！キャンペーン（マイバッグ推進連絡会と合同）  
阿佐谷七夕まつり期間中に環境大臣を迎えて、ふるしき等マイバッグの推進を訴え、同時にレジ袋の再利用シールと再利用ラベル入りポケットティッシュを配布し、レジ袋のリユースを訴えた
- 9月 副会長が委員に参加した、杉並区レジ袋有料化モデル検討会が、区長に中間報告「杉並区レジ袋有料化モデル検討会中間報告 - 有料化モデル構築のための実証実験に向けて」を提出
- 10月16日 「レジ袋削減推進に向けた取組に関する協定」締結  
更にレジ袋削減を一步進めるために、レジ袋削減推進モデル店で、レジ袋を有料とする実証実験を1月から実施することなどを盛り込んだ、全国初の地域自主協定を締結。
- ” 協議会の取り組む「レジ袋の有料化等による使用削減推進モデル事業」が、環境省の容器包装廃棄物3R推進モデル事業となる。

## 5 その他のレジ袋削減運動等への取り組み

### (1) 広報等によるPR

広報掲載 30回

レジ袋対策の冊子・チラシ等作成

駅頭宣伝及びチラシ配布（区内駅） 19回

転入者向けチラシ（平成16年1月～）

### (2) 説明会等の実施

杉並区商店会連合会各ブロック説明会ほか124回

### (3) マイバッグ普及促進の計画化

### (4) お買い物袋・風呂敷デザイン画コンテストの実施

### (5) ISO 14001の環境目的・環境目標・環境マネジメントプログラム（行動計画）の策定

### (6) 掲出物等の作成、配布等

ポスター、横断幕、懸垂幕、のぼり旗（大、小）、POPスタンド、車両用ボディパネル、名札、CATV放映、路線バス車内放送、商店会やスーパー店内放送など

### (7) 区内スーパー、コンビニへの取り組み強化依頼

区内のスーパー、コンビニ全店（235店舗）を区職員が訪問し、声かけや掲出物協力を依頼した。（平成15年12月～16年1月）

### (8) 庁有車による広報活動（平成16年1月19日～30日）

### (9) マイバッグ推進連絡会

平成13年度 9回

平成14年度 8回 キャンペーン活動3回

- 平成15年度 7回 キャンペーン活動2回  
 平成16年度 7回 キャンペーン活動2回
- (10) マイバッグの製作教室 23回  
 (11) マイバッグデザイン作品展・コンテスト 4回  
 (12) ごみ会議の開催及び提言 全体会1回、地域別会議7回、外国人ごみ会議1回  
 中学生ごみ会議3回  
 (13) レジ袋減量ネットワーク(杉並、中野、板橋、練馬4区の消費者と事業者及び行政)  
 平成14年5月8日、区役所において会合を行う。  
 (14) 駅頭宣伝及びチラシ配布 11回実施、  
 (15) 各地自治体でのレジ袋削減・マイバック持参運動のパネルディスカッション等に参加

## 6 エコシール事業(平成14年11月から実施)

- (1) 事業に加盟する商店でレジ袋を辞退すると、1回の買い物(概ね200円以上)につき、1枚4円相当のシールを発行する。  
 (2) シールが25枚集まる(台紙に貼る)と、100円の買い物ができる。  
 (3) シール1枚4円のうち、2円を加盟する商店が負担し、残りの2円を区が負担  
 (4) 平成17年1月より、シール、台紙を一新して、さらに2年間事業を延長した。  
 (5) 利用者(消費者)への魅力付けとして、以下のようなことを実施
- 買い物券利用後の台紙による抽選会(第1回:平成15年11月3日実施)  
 (第2回:平成17年1月29日実施)
- 公益的な活動をしている団体での収集に対する割増換金  
 限定商品との交換(第1弾:買い物券5枚でアニメグッズ(非売品)と交換、平成15年12月31日にて終了)  
 特典付き加盟店MAPの配布(平成15年9月発行、平成17年4月発行予定)  
 ボランティアパスポートとの連携キャンペーン「花咲く杉並 エコ・ボラキャンペーン」実施(平成16年6月下旬~11月)  
 参加校10校 約2,750人の児童・生徒が取り組んだ。